



岐阜信用金庫



2023年9月29日

株式会社 ライフレとの

ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結について

岐阜信用金庫（理事長 好岡 政宏）は、持続可能な社会への貢献を共に実現するため、株式会社 ライフレ（代表取締役 林 伴佳）と、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

岐阜信用金庫は、引き続き、地域金融機関としての責任を果たし、ポジティブ・インパクト・ファイナンスの普及と持続可能な社会を実現するために、お客さまの目標にあわせたサポートを行い、ポジティブな社会的、環境的、経済的なインパクトの実現に積極的に取り組んでいきます。

記

【契約内容】

| | |
|------|--------|
| 融資金額 | 110百万円 |
| 期間 | 7年 |
| 資金用途 | 事業資金 |

【企業概要】

| | |
|---------|--|
| 発行企業名 | 株式会社 ライフレ |
| 所在地 | 岐阜県岐阜市菅生7丁目2番19号 |
| 代表者 | 林 伴佳 |
| 事業内容 | フィットネスジム運営 |
| 資本金 | 4百万円 |
| 設立 | 2018年5月16日 |
| 第三者評価機関 | 株式会社 格付投資情報センター 評価レポート： https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html |

以上

株式会社ライフ
ポジティブインパクトファイナンス評価書

2023年9月29日



岐阜信用金庫は、株式会社ライフレ（以下、「ライフレ」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクトおよびネガティブインパクト）を分析・評価した。この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、岐阜信用金庫が開発した評価体系に基づいている。

目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 事業概要 | 3 |
| (1)企業概要 | 3 |
| (2)沿革..... | 3 |
| (3)経営理念 | 4 |
| (4)組織体制 | 4 |
| (5)店舗体制 | 4 |
| 2. サステナビリティ | 6 |
| (1)社会貢献に資する取り組み | 6 |
| (2)環境に資する取り組み | 6 |
| (3)人材育成、雇用創出に資する取り組み | 7 |
| 3. インパクトの特定 | 7 |
| (1)事業内容 | 7 |
| (2)バリューチェーン分析 | 8 |
| (3)インパクトレーダーによるマッピング | 9 |
| (4)特定したインパクト | 11 |
| (5)インパクトニーズの確認 | 13 |
| 4. KPI の設定 | 17 |
| 5. モニタリング | 19 |
| (1)ライフレにおけるインパクトの管理体制..... | 19 |
| (2)当金庫によるモニタリング | 19 |
| (3)モニタリング期間 | 19 |

1. 事業概要

(1) 企業概要

同社は岐阜県、愛知県および三重県において FIT-EASY（フィットイージー）のフランチャイジーとして 24 時間アミューズメント型フィットネスジムを 8 店舗運営しており、人々の健康の維持・増進に貢献している。

同社は人々の運動習慣定着化・健康寿命の向上ひいては超高齢社会における医療費・介護費の抑制に向けてセルフマネジメントの概念の普及に取り組んでいる。

「長期的かつ日常的に身体を動かすことがお客様のライフスタイルとなる」ことを目指し、ジム会員とともに健康とフィットネスを追求し、多様なトレーニングニーズに応える施設と情報を提供している。

| | |
|-------|------------------------|
| 企業名 | 株式会社ライフレ |
| 本社所在地 | 岐阜県岐阜市菅生 7 丁目 2-19 |
| 代表者 | 代表取締役 林 伴佳 |
| 資本金 | 4,000,000 円 |
| 売上高 | 3 億 4 千万円（2023 年 4 月期） |
| 設立 | 2018 年 5 月 |
| 事業内容 | フィットネスジム運営 |
| 従業員数 | 84 名（2023 年 8 月現在） |

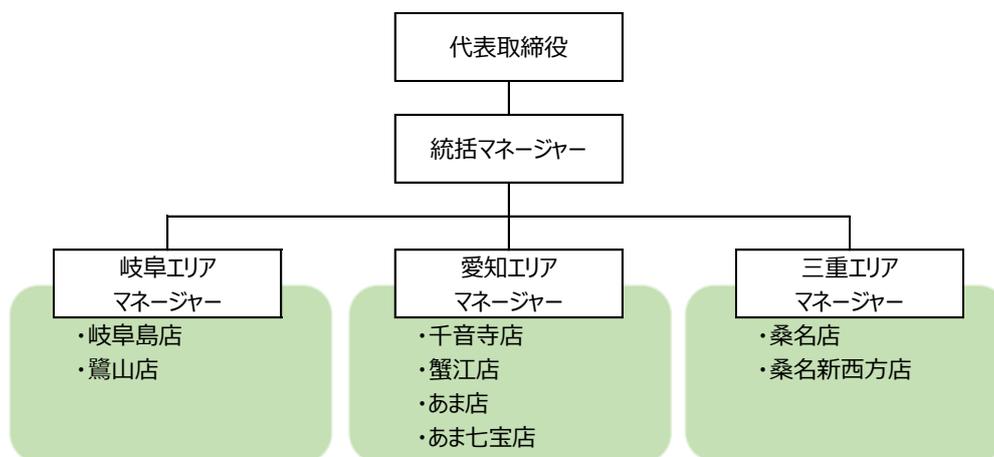
(2) 沿革

| | |
|-------------|-------------------------|
| 2018 年 9 月 | 法人設立 FIT-EASY 岐阜島店開業 |
| 2018 年 12 月 | FIT-EASY 千音寺店開業 |
| 2019 年 6 月 | FIT-EASY 桑名店開業 |
| 2020 年 1 月 | FIT-EASY 桑名新西方店開業 |
| 2020 年 11 月 | FIT-EASY 蟹江店開業 |
| 2020 年 12 月 | FIT-EASY 鷺山店開業 |
| 2023 年 4 月 | FIT-EASY あま店開業 |
| 2023 年 8 月 | FIT-EASY あま七宝店開業 |

(3)経営理念



(4)組織体制



(5)店舗体制



【店舗外観】



【店舗名】

【ウエイトトレーニング以外】

岐阜島店 ・なし

鷺山店



(1)ゴルフ (2) タンニングマシン
(3)体成分分析装置インボディ (4) 水素水

千音寺店



(1)スタジオ (2) タンニングマシン
(3)体成分分析装置インボディ

蟹江店



(1)スタジオ (2) タンニングマシン
(3)水素水

あま店



(1)ゴルフ (2) タンニングマシン (3)水素水

あま
七宝店



(1)ゴルフ (2) タンニングマシン (3)水素水
(4)セルフエステ (5) サウナ (6)ラウンジ

桑名店 ・なし

桑名
新西方店



(1)ゴルフ (2) タンニングマシン
(3) 体成分分析装置インボディ
(4)スタジオ (5) 水素水 (6)セルフエステ

2. サステナビリティ

(1)社会貢献に資する取り組み

同社は岐阜県、愛知県、三重県の 3 県にわたり「FIT-EASY」フランチャイズ店舗となるフィットネスジムを運営し、利用者が楽しみながら身体づくりに励むことのできる環境提供を通じて地域における健康増進支援に日々取り組んでいる。

具体的な取り組み内容は下記の通りである。

- ・年中無休 24 時間営業のフィットネスジム 8 店舗の展開を通じた、利用者が利用したいタイミングで利用できるフィットネス環境の提供
- ・ジム会員の店舗間相互利用による利便性の向上を通じた会員の利用率向上、健康増進への貢献
- ・店舗周辺環境を考慮した出店戦略、店舗別の提供サービス選択による会員の利用率向上、健康増進への貢献
- ・独自の店舗運営マニュアルによる徹底した日々の店舗清掃を通じた清潔で利用しやすい店舗づくり
- ・SNS などを通じた健康や運動に関する正しい知識（ヘルスリテラシー）の発信
- ・店舗近隣の清掃活動実施を通じた地域社会への貢献

(2)環境に資する取り組み

年中無休 24 時間営業のフィットネスジムの多店舗展開において、省資源化、省エネルギーの推進、大気汚染物質排出抑制等、環境へ配慮した運営に積極的に取り組んでいる。

具体的な取り組み内容は下記の通りである。

- ・各施設内照明の LED 化推進およびスタッフルーム、スタッフ用通路等の人感センサー照明採用を通じた省エネルギー化の推進
- ・店舗内空調管理の徹底を通じた利用者の快適性と過剰なエネルギー使用抑制の両立
- ・リネン類については店舗内にて洗濯し再利用を実施
- ・ペーパータオル等の消耗品についてはリサイクル品を選定、購入
- ・社用車のハイブリット車採用による Co2 削減

(3)人材育成、雇用創出に資する取り組み

同社では正社員、パート社員、アルバイト従業員と多様な人材がやりがいをもって分け隔てなく活躍できる労働環境を整備し、複数店舗の円滑な運営につなげている。

具体的な取り組み内容は下記の通りである。

- ・FIT-EASY オフィシャルトレーナー（社内基準を満たしたトレーナー）の取得支援
- ・最先端「顔認証システム」を導入し、無人運営による早朝深夜労働の廃止と残業時間の削減
- ・休暇やショートタイムなどによる従業員のフレキシブルな勤務体制を実現
- ・各店舗におけるオペレーション共通化を通じた店舗間異動・応援の実施
- ・出勤管理アプリの活用による柔軟なシフト管理の実現
- ・主婦層や学生層が働き続けやすいシフト時間帯の設定
- ・アルバイトから正社員への登用制度の活用による多様な働き方支援の実現
- ・店舗間移動に利用する社用車の貸与
- ・従業員への福利厚生としての自社フィットネス施設の開放

3. インパクトの特定

(1)事業内容

同社主力事業は「FIT-EASY」フランチャイズ店舗となるフィットネスジム運営であり、2018年の創業以来、積極的な店舗展開により現在では8店舗の運営へと規模を拡大している。

年中無休 24時間営業かつトレーニングが続けやすい低価格設定により、利用者の様々なライフスタイルに合わせたトレーニング環境を提供している。

多様なトレーニングニーズに応える施設・設備と最新のトレーニングメソッドを地域一般個人に提供していることに加え、地域法人に対しても従業員への福利厚生としての法人契約を実施している。

1店舗目となる「FIT-EASY 岐阜島店」は、「FIT-EASY」フランチャイズ店舗としても国内1店舗目の店舗となり、同店舗立ち上げ時に「FIT-EASY」本部と共に試行錯誤しながら策定した店舗運用オペレーション、店舗運営マニュアルは現在では全国の「FIT-EASY」フランチャイズ店舗でも有効に活用されている。

この店舗立ち上げ時の経験に基づく店舗運営ノウハウに加え、同社独自のSNSによる会員顧客との双方向でのコミュニケーションも同社フィットネスジム会員基盤を形成する強みとなっている。

また、トレーニングマシンを利用するウエイトトレーニングに加えて利用者を飽きさせないように、限られた店舗でラウンド型ゴルフシミュレーターを導入し、マシントレーニング以外のフィットネスも楽しめる環境を整備しているほか、サウナ・セルフエステマシン・タンニング設備などの導入により総合的に利用者がボディメイクを行える環境を提供している。



【トレーニング設備】



【タンニング設備】



【ラウンド型ゴルフシミュレーター】



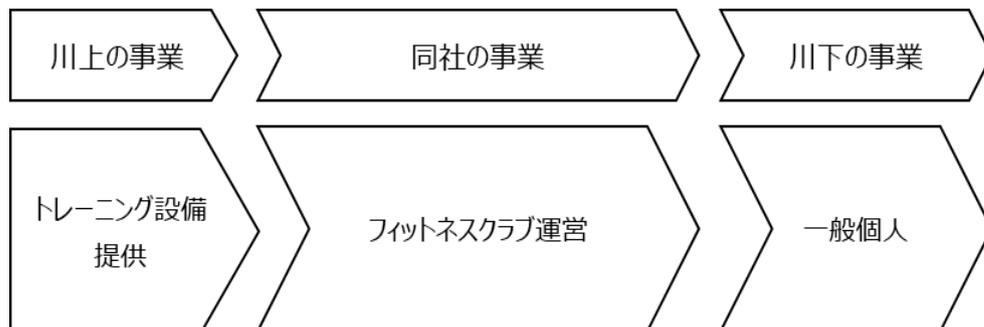
【バーチャルフィットネススタジオ】

(2)バリューチェーン分析

インパクトの特定のため、同社主力事業である「フィットネスジム運営事業」についてバリューチェーン分析を実施した。

同社は「FIT-EASY」のフランチャイジーとして年中無休 24 時間営業のフィットネスジム 8 店舗を運営している。

同社のバリューチェーン図（図は同社提供資料をもとに岐阜信用金庫にて作成）



(3)インパクトレーダーによるマッピング

先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。

同社の事業および川上・川下の事業を国際産業標準分類（ISIC）上の業種カテゴリに適用させた上、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト」（以下 PI）と「ネガティブインパクト」（以下 NI）を想定する。

同社の事業については「スポーツ施設運営業（ISIC:9311）」を、川上の事業については「その他機械器具卸売業（ISIC:4659）」をそれぞれ適用し、発生するインパクトの検証を行った。

◎：主要カテゴリ ○：関連カテゴリ

| 国際産業標準分類 インパクトカテゴリ | 川上の事業 | | 同社の事業 | |
|-----------------------|----------------------|----|---------------------|----|
| | 【4659】 その他機械器具卸売業 | | 【9311】 スポーツ施設運営業 | |
| | PI | NI | PI | NI |
| 水 | | | | |
| 食糧 | | | | |
| 住居 | | | | |
| 健康・衛生 | | | ○ | |
| 教育 | | | | |
| 雇用 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| エネルギー | | | | |
| 移動手段 | | | | |
| 情報 | | | | |
| 文化・伝統 | | | | |
| 人格と人の安全保障 | | | | |
| 正義・公正 | | | | |
| 強固な制度・平和・安定 | | | | |
| 水（質） | | ○ | | |
| 大気 | | ○ | | |
| 土壌 | | | | |
| 生物多様性と生態系サービス | | ○ | | |
| 資源効率・安全性 | | | | |
| 気候 | | ○ | | |
| 廃棄物 | | ○ | | ○ |
| 包括的で健全な経済 | ○ | | | |
| 経済収束 | | | | |

上表のうち、川上の事業については同社事業活動が与える影響については軽微なものとなるため、分析を省略しており、川下の事業については同社サービスの提供先が一般個人となることから分析を省略している。

同社の事業「スポーツ施設運営業（ISIC:9311）」

| | |
|----|-------------|
| PI | 「健康・衛生」「雇用」 |
| NI | 「雇用」「廃棄物」 |

【社会面】

◆「健康・衛生」

スポーツ、フィットネスへの取り組みを通じて健康増進につながるという PI が発現する。

同社では岐阜県、愛知県、三重県の 3 県にわたり年中無休 24 時間営業のフィットネスジム 8 店舗を展開することで、好きなときに、好きな所で、利用者好みのフィットネスを楽しむことが可能となり、会員の健康促進とストレス軽減に寄与している。

さらに、顔認証による入店、警備会社と連携した防犯体制など、女性でも安心・安全に 24 時間利用できる環境を整備することで、男女問わず施設利用意欲を促進し、健康習慣への取り組みをサポートしている。

また、そのほかにも利用者同士のコミュニティ形成は、施設利用意欲の向上に繋がることから、SNS 等の活用も積極的に行い、PI の拡大に貢献している。

上記は SDG3「すべての人に健康と福祉を」に該当する。

□「3.4：正しい生活習慣を促し、早すぎる死亡を食い止めよう」

◆「雇用」

従業員の雇用の創出という PI と、労働形態によっては労働者の健康状態が脅かされるという NI が発現する。

同社では働き続けやすいシフト時間帯の設定、アルバイトから正社員への登用制度の活用といった取り組みを通じた PI の拡大に努めており、また、顔認証システムや DX 化の導入によりアルバイト従業員のみで店舗運営を実現できる作業マニュアルの整備・残業時間の削減など、労働形態の改善を通じた NI の緩和に努めている。

上記は SDG8「働きがいも経済成長も」に該当する。

□「8.5：2030 年までに、若者や障害者を含むすべての女性と男性にとって、完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい仕事を実現し、同一労働同一賃金を達成する。」

□「8.8：移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある人々を含め、すべての労働者を対象に、労働基本権を保護し安全・安心な労働環境を促進する。」

【環境面】

◆「廃棄物」

店舗運営のなかで廃棄物が発生するという NI が発現する。

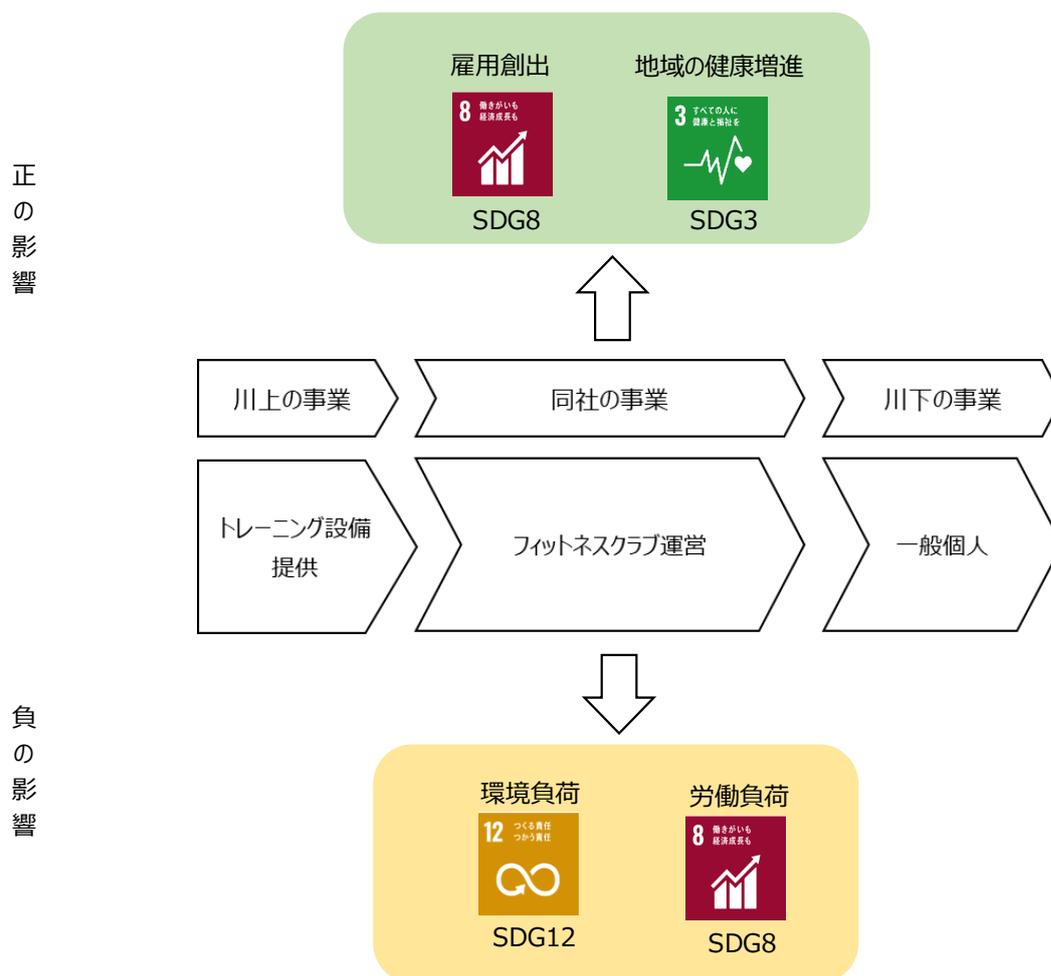
同社ではリネン類については店舗内で洗濯し再利用しているほか、店舗で使用する消耗品についてもリサイクル品を優先的に選定、使用することで NI の緩和に努めている。

上記は SDG12「つくる責任つかう責任」に該当する。

□「12.5：廃棄物の発生を、3R で大幅に減らそう」

(4)特定したインパクト

下図は「バリューチェーン分析」「インパクトマッピング」の結果を踏まえて、同社のバリューチェーンが与えるインパクトを可視化したものである。



以上を踏まえて同社のインパクトを下記の2つに特定した。

【重要なインパクト】

「フィットネスジム多店舗展開を通じた地域健康増進への貢献」

「社員の雇用と働きがい創出」

① フィットネスジム多店舗展開を通じた地域健康増進への貢献

・会員が利用したいタイミングで利用できるフィットネス環境の提供：SDG3

同社では年中無休 24 時間営業のフィットネスジムを岐阜県、愛知県、三重県に展開し、出店エリアの特性に応じて利用意欲の誘因を図るため、基本的なトレーニングマシンのほかバーチャルゴルフやバーチャルフィットネススタジオといった設備を設置している。

ジム会員が楽しみながら健康増進を図ることができる様々なサービスを提供することで、地域における健康福祉の増進に貢献している。

また、ジム会員の店舗間相互利用を可能とすることで、会員利便性の向上を通じた施設の利用率向上につなげ、地域におけるフィットネス利用機会増加を実現している。

今後、更なるフィットネスジムの新規出店を積極的に図っていく計画であり、同社の取り組みを通じたフィットネス利用機会増加の対象となるエリアを拡大し、新規出店エリアにおいても地域住民や出店エリア近辺に勤務する利用者の健康福祉の増進への貢献を強化していく。

これらの取り組みを実践することで、地域健康増進体制の強化に貢献することができる。

これらのインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「健康・衛生」のカテゴリに該当し、社会的側面の PI を拡大すると考えられる。

② 社員の雇用と働きがい創出

・多様な人材の雇用促進：SDG8

同社ではアルバイト従業員のみで店舗運営を実現できる作業マニュアルの整備や各店舗におけるオペレーションの共通化、出勤管理アプリの活用による柔軟なシフト管理、主婦層や学生層が働き続けやすい短時間勤務・シフト時間帯の設定といった取り組みを通じて、残業時間を限りなくゼロにした従業員のワークライフバランスの推進とフレキシブルな勤務体制を実現し、労働環境を整備し地域の雇用創出に貢献している。

今後、さらなる多店舗展開を図っていくにあたり新規出店エリア近辺での新規雇用者の確保を図っていく方針であり、従業員の働き方のニーズにあわせた労働環境の継続的な整備、改善を通じて地域雇用創出への貢献を強化していく。

・資格取得サポートやキャリアプラン形成支援の充実：SDG8

同社では従業員の FIT-EASY オフィシャルトレーナーの取得支援や、アルバイトから正社員への登用制度の活用を通じて従業員のスキルアップ、キャリアアップを推進している。

定型的（パターン）労働は、心身の負担も少ないが、労働者一人ひとりが働きがい・やりがいを感じられるかは個人差があり、労働が単に収入を得るためだけの手段となりうる可能性がある。同社は提案制度を新たに実施していくことで幅広い意見を従業員から聞き取り、積極的に採用することで労働者のエンゲージメントや労働生産性向上を図る。

今後、さらなる多店舗展開を図っていくにあたり組織力強化を図っていく必要があり、役職ごと

の職務分掌の明確化に取り組んでいくとともに、社内でのアルバイト、アルバイトリーダー、正社員、マネージャーといったキャリアプランを可視化していき、また FIT-EASY オフィシャルトレーナーをはじめ業務上必要となる資格等の取得支援を強化していくことで成長志向の従業員の成長を支援し、より働きがいをもって働ける職場環境形成を実現していく。

これらの取り組みを通じて、社員が健康的で働きがいをもって働ける職場環境を整備し、一人ひとりの成長を促すことが可能となる。

これらのインパクトは UNEP FI のインパクトリーダーでは「雇用」のカテゴリに該当し、社会的側面の PI を拡大および NI を緩和すると考えられる。

(5)インパクトニーズの確認

① 日本におけるインパクトニーズ

同社売上の大半は日本国内におけるものであり、国内における SDG インデックス&ダッシュボードを参照し、そのインパクトニーズと同社のインパクトとの関係性を確認した。

本 PIF において特定したインパクトに対応する SDGs のゴールは、以下の 2 点である。

「 3 : すべての人に健康と福祉を」

「 8 : 働きがいも経済成長も」

国内における SDG ダッシュボード上では、「8」に関しては「重要な課題が残る」、「3」に関しては「課題が残る」とされており、同社の地域における健康福祉増進に向けた取り組み、多様な人材が活躍できる職場環境の形成に向けた取り組みなどが、日本国内におけるインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した



(出典：SDSN)

② 岐阜県・愛知県・三重県におけるインパクトニーズ

同社の事業活動はフィットネスジムを展開する岐阜県、愛知県、三重県を中心に行われていることから、「岐阜県 SDGs 未来都市計画」、「愛知県 SDGs 未来都市計画」、「三重県 SDGs 未来都市計画」をそれぞれ参照し、三県内における SDGs 達成に向けての課題を確認した。

岐阜県では「誰もが活躍し生きがいを感じられる地域社会の構築」を、愛知県では「すべての人が参画し、生涯にわたって活躍できる社会を築いていくこと、企業等で女性が活躍できる環境をつくっていくこと」を、三重県では「誰もが参画・活躍する環境に配慮した社会づくり」を2030年のあるべき姿と設定しSDGs達成に向けた課題を設定しており、同社の地域における健康福祉増進に向けた取り組み、多様な人材が活躍できる職場環境の形成に向けた取り組みが、岐阜県、愛知県、三重県におけるインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。

岐阜県 第2期SDGs 未来都市計画の概要

計画の位置付け

- 中期前に「SDGs未来都市」として選定された自治体が2030年のあるべき姿を実現するため、環境・経済・社会の3側面の取組みを具体化したアクションプラン。
- 第1期計画が令和4年度で終了することから、第2期（令和5年度～令和7年度）計画を策定。

地域特性

①岐阜県の特徴

- 豊かな自然環境**
 - 豊かな森林と美しい清流に恵まれた「山業水明」の地（森林面積、河川延長は全国屈指）
 - これらは岐阜県が優位性を有する「自然資本」
- 「豊かな自然」が育んだ魅力あふれる地域資源**
 - 豊かな自然から得た地域資源を糧に各地域で独自の生活様式や文化を形成
 - 世界農業遺産「高良川システム」の認定（2015年）
 - 「清流」が喚起する文化、食、営みにより本県は「清流の国」と呼ばれるアイデンティティを確立
- 多彩な農林畜水産物**
 - 多彩な農林畜水産物を生産（ほうれんそう、トマト、柿、栗、飛騨牛、東濃柿 等）
- 多様なものづくり（伝統工芸から先端産業まで）**
 - 多様な製造業が集積
 - （飛騨の家具、関の陶物、美濃和紙、美濃焼、電気機械・工作機械などの製造業、航空宇宙産業 等）
- 魅力的な観光地とインバウンド**
 - 魅力的な観光資源
 - （白川郷、下呂温泉、飛騨高山、長良川鶴橋、関ヶ原、地蔵歌舞伎 等）
 - サステイナブル・ツーリズムの推進
 - 世界の持続可能な観光地100選【白川村（2020年）、長良川流域（2021年）、下呂市・下呂温泉（2022年）】
 - NET GIFI HERITAGE「岐阜未来遺産」認定制度の創設
- 岐阜県人口**
 - ＜推計と予測＞ 201万5千人（2000年）→197万9千人（2020年）→136万7千人（2050年）
 - ＜年齢構成の予測＞2050年：生産年齢人口（15～64歳）は5割まで減少、高齢人口（65歳以上）は4割超

今後取り組む課題

- 少子高齢化に対応した地域活性化が必要
- アフターコロナを見据えたDX、GXなどの推進が必要
- 気候変動や環境問題等、プラネタリー・バウンダリー^①の観点での対応が必要

2030年のあるべき姿

自然と人が創り出す 世界に誇る「清流の国ぎふ」

【「あるべき姿」を実現するための共通認識】

- 森林や清流などの豊かな自然は、全国・世界にも誇れる本県ならではの「自然資本」
- 各地域が特徴を活かし、地域内で財やエネルギーが循環する「地域循環共生社会」を形成すべき
- SDGsは地球で暮らす一人ひとりが最低限備えるべきマナーと理解すべき

<環境> 美しい清流とそれを育む豊かな森の保全と活用

- 「脱炭素社会ぎふ」の実現
- 資源循環型社会の形成
- 自然環境や生物多様性の保全と産業等での活用両立
- 自然災害への対策の構築

<経済> 「清流の国ぎふ」ブランドと変化に強い地域経済の確立

- 伝統産業や農林水産業の世界的評価を獲得
- DXによる産業分野の競争力の発揮
- コロナ等社会経済情勢の変化に強い産業の確立
- サステイナブル・ツーリズムの確立
- コロナ等社会経済情勢の変化に強い産業の確立

<社会> 誰もが活躍し生きがいを感じられる地域社会の構築

- 多様な人材の活躍
- デジタル社会、SDGs、グローバル社会に対応した教育の展開
- 人口減少下でも活力ある地域社会の構築
- 子育て支援等福祉施策の充実

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット

| 環境 | 経済 | 社会 |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 「脱炭素社会ぎふ」の実現、自然環境・生物多様性の保全、資源循環型社会の形成を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を活用したビジネス革新の推進、多様な人材の確保・定着等、社会経済情勢の変化に強い産業構造を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> 一人取り残されることなく活躍できる人口減少下でも活力ある地域社会を目指す。 |
| <p>【KPI（指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス削減量 家庭一戸当たりエネルギー消費量 一般工業廃棄物排出量 人工造林面積（再造林等） | <p>【KPI（指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業産出額 林業産出額 従業員一人当たりの付加価値額 観光消費額 一人当たり県民所得 | <p>【KPI（指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> くらしの満足度 合計特殊出生率 労働力率 移住者数（累計） |

ゴール、ターゲット実現のため「オール岐阜」でSDGsを推進

- 県民一人ひとりがSDGsの理念や意義を理解し、その達成に向け行動する社会を目指す。

【KPI（指標）】

| | | | |
|-------------------------|---------------|---|------------------|
| 県民のSDGs達成に向け行動に移した割合 | 52.8%（2022年度） | → | 80.0%（2030年度） |
| 「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワーク会員数 | 924会員（2021年度） | → | 1,650会員（2025年度） |
| 新たな登録制度の登録事業者数（累計） | — | → | 600企業・団体（2025年度） |

（出典：岐阜県第2期SDGs未来都市計画の概要）

＜今後取り組む課題＞

（経済面）

- デジタル化の急速な進展に伴って、産業構造の大きな変化が見込まれる中、自動車産業を始め、あらゆる産業において、イノベーションを巻き起こす力強い産業づくりの推進が必要。

（社会面）

- 今後、人口減少局面に転じるとともに、急速に高齢者が増加。すべての人が参画し、生涯にわたって活躍できる社会を築いていくことが課題。
- 若年女性の東京圏への流出超過が拡大する中で、持続的な発展のためには、若年女性の流入・定着が重要で、企業等で女性が活躍できる環境をつくっていくことが課題。

（環境面）

- 都市化や産業活動により失われた各地域の生態系を再生・回復、維持していくためには、多様な主体が連携して生態系を守っていくことが課題。また、我が国随一の産業県として、企業等と連携しながらカーボンニュートラルの実現にも取り組んでいくことが重要。

（出典：愛知県SDGs未来都市計画（第2期））

② 社会：誰もが参画・活躍する環境に配慮した社会づくり

- ・ 環境問題を自らの問題としてとらえ、一人ひとりが「環境」の価値と重要性を見出し、全ての県民の皆さんが環境における「協創」に積極的に取り組んでいる。
- ・ 環境活動を支える様々な主体が「環境」の分野において連携し、「協創」に取り組んでいる。また、県民一人ひとりが、買い物や食事等、日常生活の場面で環境に配慮した行動を実践し、企業や NPO、地域の自治会等のあらゆる主体が様々な環境保全活動を展開し、互いにつながり、支え合っている。
- ・ 事業者の環境経営の導入が進み、ESG 投資、SBT、RE100 等の理解が深まり、脱炭素社会に向けた取組が経済成長に生かされている。
- ・ 事業者等による環境に配慮した事業活動が行われ、快適で安全・安心な生活環境が維持されている。
- ・ 公益財団法人国際環境技術移転センター(ICETT)と連携し、国、他の地方自治体、大学、企業等と協力して国際環境協力を進めるとともに現地のニーズに応じた技術移転が進んでいる。

(出典：三重県 SDGs 未来都市計画)

③ 岐阜信用金庫との親和性

◆「ぎふしん SDGs 宣言」

以下の 3 項目を SDGs 達成に向けた重点課題としている。

- (1) 持続可能な地域の経済成長のための活動
- (2) 持続可能な地域産業の基盤構築のための活動
- (3) 持続可能なまちづくりのための活動

◆親和性の確認

本件 PIF の取り組みに際し特定した同社のインパクトである「フィットネスジム多店舗展開を通じた地域健康増進への貢献」については、「ぎふしん SDGs 宣言」の(1)、(3)と、「社員の雇用と働きがい創出」については、「ぎふしん SDGs 宣言」の(2)と親和性があり、相互に協力しあうことで、「経済」「社会」「環境」の 3 つの側面に渡り、持続可能な開発に関する枠組みとして、良質な効果が発生するものと思われる。

以上から、本 PIF の取組みは追加性のある PI 創出支援を行うものであり、その本源的目的との合致を確認したうえで SDGs 達成に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることを目指すものである。

4. KPI の設定

特定したインパクトの発現状況を今後も継続的に測定可能なものとするため、先に特定したインパクトに対し、インパクトの種類、インパクトカテゴリ、関連する SDGs、内容・対応方針および目標と KPI を整理、設定する。

■フィットネスジム多店舗展開を通じた地域健康増進への貢献

| 項目 | 内容 |
|-----------|---|
| インパクトの種類 | 社会的側面においてポジティブインパクトを拡大 |
| インパクトカテゴリ | 「健康・衛生」 |
| 関連する SDGs |  |
| 内容・対応方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・安心安全で楽しく利用できるトレーニング環境を地域社会に継続的に提供するために、岐阜県、愛知県、三重県を中心に引き続き出店を積極的に行う。 ・ジム会員が飽きずにいつでも楽しめるフィットネスサービス展開や、SNS 活用によるマーケティングとコミュニケーションを通じて施設の利用につなげ、地域におけるフィットネス利用機会増加を実現する。 |
| 目標と KPI | <ul style="list-style-type: none"> ・2030 年 4 月期までに、新規フィットネスジム 7 店舗出店を実現し、15 店舗体制を達成する。 ・2030 年 4 月期までに、売上高 7 億円規模を達成する。 |

■ 社員の雇用と働きがい創出

| 項目 | 内容 |
|-----------|--|
| インパクトの種類 | 社会的側面においてポジティブインパクトを拡大 社会的側面においてネガティブインパクトを緩和 |
| インパクトカテゴリ | 「雇用」 |
| 関連する SDGs |  |
| 内容・対応方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・新店舗出店に伴う出店エリア近辺での新規雇用者の確保 ・アルバイト従業員を中心とした FIT-EASY オフィシャルトレーナー取得の推奨、取得支援 ・役職ごとの職務分担の整理、昇進要件の設定 ・改善提案制度(表彰制度あり)の実施による働きがいの創出 ・残業時間のゼロによる継続したワークライフバランスの推進 |
| 目標と KPI | <ul style="list-style-type: none"> ・2030 年 4 月期までに、事業規模拡大に伴う新規雇用者を 70 名採用する。 ・2030 年 4 月期までに、アルバイト従業員からの正社員登用者を 3 名確保する。 ・2030 年 4 月期までに、FIT-EASY オフィシャルトレーナー取得者を 10 名増加させる。 ・2030 年 4 月期までに、提案制度による 7 件以上の業務改善を実施する。 ・2030 年 4 月期まで継続して残業時間のゼロを維持する。 |

5. モニタリング

(1) ライフレにおけるインパクトの管理体制

同社では、林社長を中心に自社業務の棚卸を行い、本 PIF におけるインパクトの特定、並びに KPI の設定を行った。

今後については、以下の体制を中心とした同社プロジェクトチームが柱となって SDGs の推進、本 PIF で設定した KPI の進捗管理を行っていく方針である。

【モニタリング体制】

| | |
|-------|------------|
| 統括責任者 | 代表取締役 林 伴佳 |
|-------|------------|

(2) 当金庫によるモニタリング

本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と岐阜信用金庫の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。情報共有については、少なくとも年に 1 回実施することに加え、日々の情報交換や営業活動を通じて実施していく。

(3) モニタリング期間

下記の通り融資返済期限と同一期間にて定める。

| | |
|--------------------|---------------------------|
| モニタリング期間 (返済期限) | 7 年間 (2030 年 9 月 28 日) |
|--------------------|---------------------------|

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、岐阜信用金庫が現時点で入手可能な公開情報、株式会社ライフから提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 岐阜信用金庫が本評価に際して用いた情報は、岐阜信用金庫がその裁量により信頼できると判断したものであるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。岐阜信用金庫は、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利は岐阜信用金庫に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。